

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 14.12.25/15.1.5 No.216 連絡先 FAX 042-555-1911



パラシュート降下訓練中止を！ 1.4抗議集会

2015年1月5日～9日、横田基地で人員降下訓練が実施される予定です。

1月4日（日）、瑞穂公園において午後2時～3時、「パラシュート降下訓練中止を！ 1.4抗議集会」を、集会実行委員会で開催します。詳細はチラシをご覧ください。（チラシ、要請FAX用紙は「横田基地の撤去を求める西多摩の会」HPに掲載）

正月から延150名の人員降下 2014年の訓練通告は延べ567名

人員降下訓練は5日（月）から9日（金）まで、午前6時から午後10時の範囲、横田基地所属のC-130で、延べ150名程度で実施。

横田基地周辺市町基地対策連絡協議会は、訓練情報の早期提供及び市街地上空での低空・旋回訓練は行わないなど、基地の外に影響を及ぼさないよう安全対策に努めるよう、横田基地へ申し入れたそうです。「敵の背後に、飛行中の輸送機から兵員を落下傘降下させる」、この戦争するための訓練は、反対すべきです。

右の表は今年、情報提供された降下訓練の延べ人数で、合計で567名です。右の表以外にも、8月5日～7日は無通告で延24名、10月24日～30日は人数が不明でしたが、延125名が降下しています。2012年の人員降下訓練は600名以上でした。

沖縄の嘉手納基地では2011年までの14年間で6回、計307名の訓練をしましたが、周辺自治体の首長・議会の抗議・決議で現在は行われていません。横田基地の激しさ異常さが分ります。

2014年人員降下訓練の通告

情報提供日	実施予定日	延人員
2月25日	25～26日	20名
3月25日	26～28日	8名
4月9日	11日	1名
6月6日	9～11日	56名
6月16日	16～19日	38名
6月30日	7月1日	1名
7月22日	23日	1名
8月8日	11～15日	250名
9月5日	5日	40名
10月24日	24～30日	不明
12月10日	10日	2名
12月12日	1月5～9日	150名

ヤマサクラ67 横田基地で ハワイ・ヒッカムで 航空作戦計画



12月2日から15日まで、朝霞・練馬駐屯地などで過去最大6500名参加の日米共同方面隊指揮所演習（ヤマサクラ67）が行われました。横田基地はこの演習の日米相互の空軍調整センター部門のようです。左の写真は、12月8日、陸自隊員と米陸軍兵士が、横田基地でヤマサクラ67演習を準備しています。



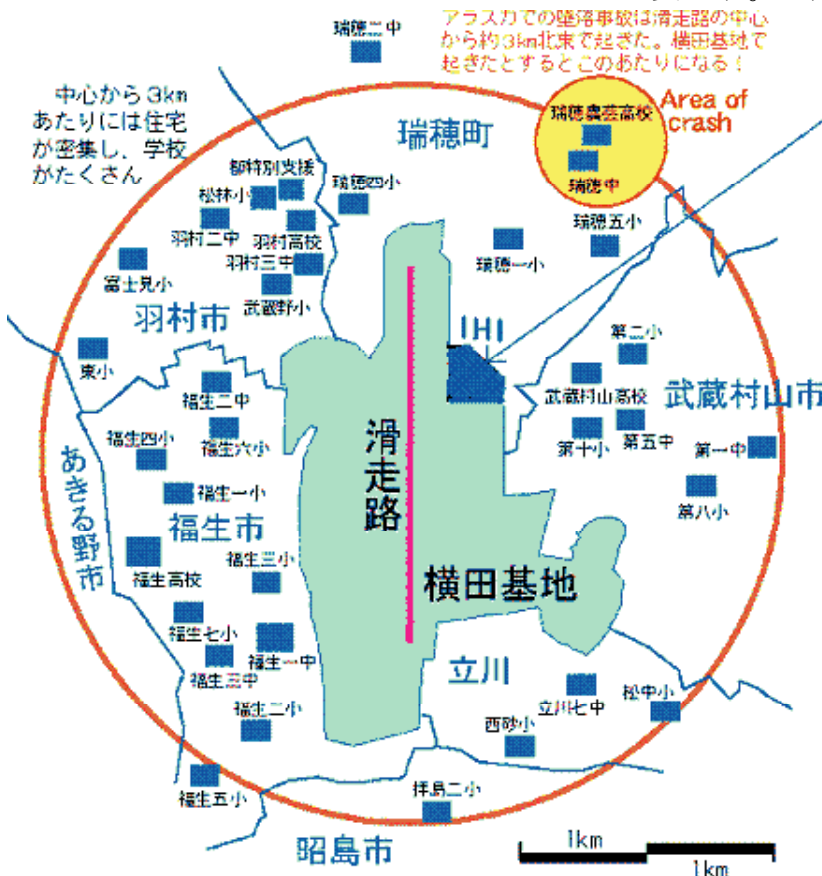
左の写真は、12月8日～13日、ハワイ・ヒッカムの第613航空・宇宙作戦センターで、アジア太平洋地域最大の恒例の相互演習であるヤマサクラ67を討議している様子です。

ヤマサクラ67のシナリオは、分かりませんが、ヤマサクラ61のシナリオは偶然判明しました。日本が他国から攻められることを想定、横田基地には105機の攻撃機、戦闘機などを展開させるなど、日本を戦場にした演習で、驚きの内容でした。

戦後70年 治外法権の米軍横田基地がある 日本は植民地状態 (No. 216 裏面)



C17 大型輸送機(左写真)は、横田基地への飛来回数トップです。全長 53 m の C17 機が 2010 年、アラスカで離陸直後、3 km の地点に墜落しました。乗務員 4 名全員死亡しましたが、そこは基地の林の中でした。横田基地で墜落したら大変です。左下の図は横田基地の中心から 3 km の円内、



アラスカでの墜落事故は滑走路の中心から約3km北東で起きた。横田基地で起きたとするとこのあたりになる！

I H I、瑞穂工場に F 3 5 戦闘機のエンジン工場新設

「I H I は航空・宇宙事業の瑞穂工場（東京都瑞穂町）に次期戦闘機 F 3 5 に搭載する F 1 3 5 ターボファンエンジンの組立工場を新設する。」と、12 月 9 日付けの日刊工業新聞が報じました。(IHI：旧石川島播磨重工業)

I H I は、機密性が高く、セキュリティ対策を施した別棟が必要になると判断し、瑞穂工場内に地上 5 階建ての工場を建設。エンジン組み立て、試運転場を整備します。延べ床面積は約 1 万 4000 m²、建築面積は 5448 m²。すでに一部着工しており、16 年 3 月末に完成する予定のようです。

一方、米軍は F35 戦闘機を岩国基地に 2017 年配備を想定。沖縄・伊江島補助飛行場で訓練を計画、垂直離着陸帯の改修を 16 年 9 月に完成させ、嘉手納基地は格納庫を拡張・改修します。

毎日、C130が旋回訓練や低空飛行、住宅地は米軍の訓練場ではない！

米軍が必要な訓練と称して、住宅地上空で急旋回したり低空飛行など危険な飛行訓練をしています。夜も 10 時近くまで飛行することがたびたびです。飛行中の部品紛失事故も、1 年半で 5 件も発生しています。住民は騒音に悩まされ、墜落や部品落下の不安にさらされています。

ひどい状況なのに、米軍は「通常の訓練」と言っています。日本はそれに反対せず、米軍のいいなりです。これでは住民の安全・安心は守れません。横田基地撤去は切実です。

オスプレイは危険とアメリカの専門家も言っているのに、日本政府は 17 機も買おうとしています。2014 年、MV22 オスプレイが横田基地に飛来しました。2015 年には、CV22 オスプレイを日本に配備しようとしています。こんな日本でいいわけありません。

2014 年、沖縄はアメリカに屈しない進路を選択しました。

2015 年は戦後 70 年の年です。沖縄のたたかいに学びましょう。

再び、日本を「戦争する国」にしないように！

